

# 伸ばすべきものは伸ばし 変えるべきものは変えていく



## ■新年度予算のポイント

平成16年度のお金の使い道、「予算」の編成に当たっては、市長の市政への考え方や具体的な施策をまとめた「さっぼろ元気ビジョン（本誌昨年8月号で紹介）」を実現するために、市役所内部で論議を重ねてきました。

- 市役所全体が、
- ①深刻な問題を抱えている財政状況を肝に銘じる
  - ②市民の声を聞きながら、庁内で政策・施策議論を行う
  - ③伸ばすべきは伸ばし、変えるべきは変えていく

という共通認識を基に、**予算・職員定数（人員）・機構（組織のつくり）**を一体的なものにとらえながら、新年度に取り組む事業について考えました。

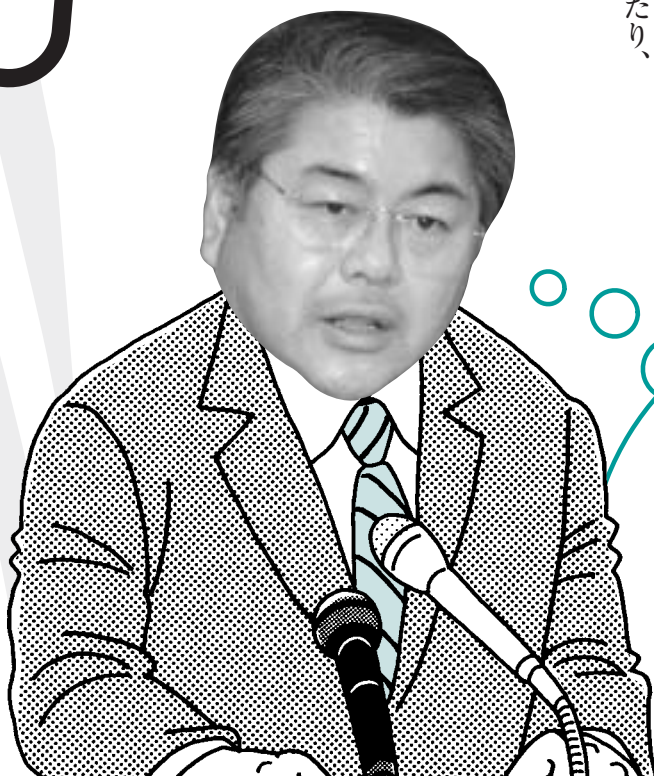
→平成16年度予算・定数・機構の編成に向けた市の動き

7月	市長 施政方針「さっぼろ元気ビジョン」を発表		
	平成16年度予算の編成	職員定数と機構の編成	事務事業の総点検
9月	各局 新年度の重点事業を選考	職員定数・機構について検討	事務事業の総点検を開始
10月	各局から市長へ重点事業の内容を説明 市長 新年度の重点事業を決定。予算編成の方針を決定 各局 「予算要求書」を作成		予算要求に反映
11月		各局 定数・機構要求書を作成	定数・機構要求に反映
12月	市民へ 市役所ホームページで予算要求書を公開・意見募集 財政局 各局の「予算要求書」を査定		内部の効率化や予算にかかわる重要なものについて方針を決定
1月	市長 予算案を査定	市長 定数・機構の編成案を査定	
2月	市長 新年度の予算・職員定数・機構の編成案について記者発表		
3月	議会 新年度の予算・職員定数・機構の編成案を審議		
4月			一層取り組みを強化し、引き続き見直しを進めていく

特集

# 市役所は 変わる？ お金は 使う？ どう？

平成16年度を迎えるに当たり、市では昨年9月から、予算の内容や組織のあり方について検討してきました。新年度の市役所はどのように変わり、どんな仕事に取り組むのか……。これまでの市の動きや考え方を併せてお知らせします。



限られたお金を、どのように使っていくか、また、行政サービスのどの部分を伸ばし、どの部分を変えていくか——。市民の皆さんと一緒に、この課題に取り組んでいきます。

## 平成16年度一般会計予算 を見てみると…

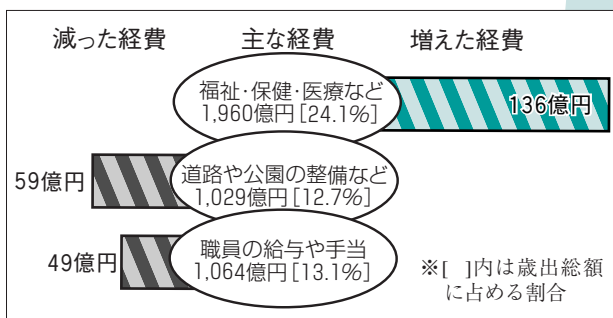
### ■新年度予算のポイント

- ①前年度比で約30億円の増額  
生活保護費など福祉の経費が増加したため。
- ②前年度比で59億円の財源不足  
不足分は市の貯金（財政調整基金）を取り崩して対応。
- ③地方交付税などが124億円の減額  
国の「三位一体改革」により減額。

### ■使うお金（歳出）の規模は…

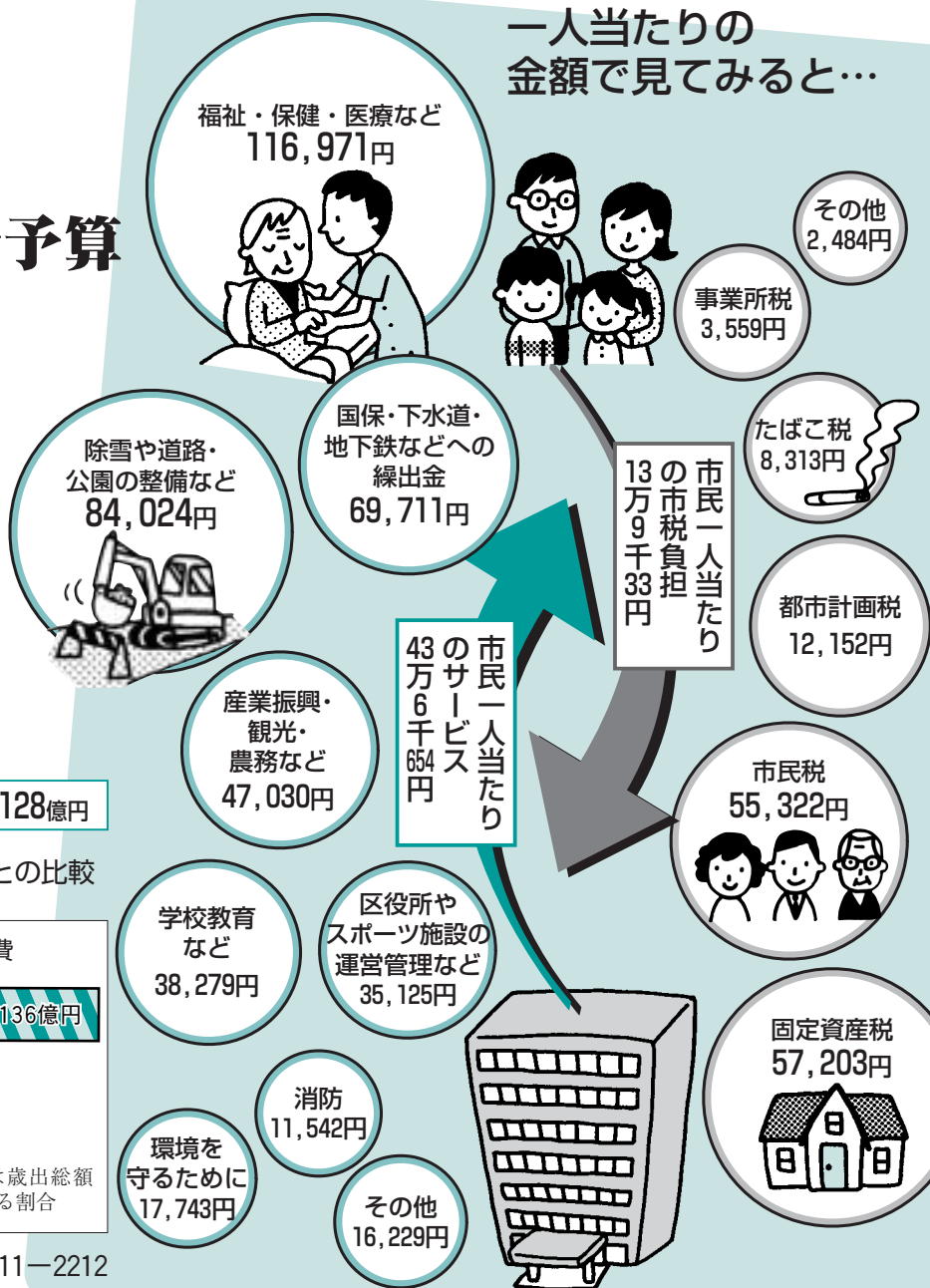
市民サービスに使うお金の総額（一般会計総額）8,128億円

↓ お金の使い道ごとに見る昨年度予算額との比較



詳細 財政課 ☎211-2212

一人当たりの  
金額で見ると…



## 出資団体を 見直します！

### ①第三者が評価します

さまざまな行政サービスを提供する上で、重要な役割を担ってきた出資団体。社会状況の変化に伴い、その役割や成果についてあらためて問い直す必要があることから、学識経験者などの専門家が市民サービスなどの面から団体を評価。今年度内に結果を公表します。市では、その結果を踏まえ統廃合を含めて見直しを進めます。

### ②再就職の適正化に取り組みます

- 職員の再就職の見直しを行います。
  - 役員に民間企業経験者など幅広く人材を登用する
  - 出資団体の組織体制を見直し、役員などに就任する市の退職者を減らす
  - 副市長、収入役が再就職した場合の在職期間や報酬額について新たに上限を定めるなど、再就職基準を一層強化する
  - 課長職以上の再就職者の氏名や団体名などを公表する
- 職員の再就職については、今後も社会状況の変化などに応じて、随時見直しを行っていきます。

### 詳細 第三者評価については都市経営課

☎(211)2177、職員の再就職については人事課 ☎(211)2072

# 今後多額の収支不足が…?!

## ■ 厳しい財政状況

景気の低迷など市を取り巻く環境が、財政状況に大きく影響しています。`厳しい、`といわれる要因は次の通りです。

### 【歳入】=入ってくるお金

- ◎市に入ってくるお金の基本となる「市税」の収入は、大きく増えることが見込めない。
- ◎国の「三位一体の改革」の影響などで、地方交付税など国から入ってくるお金は、大幅に減少することが見込まれる。

### 【歳出】=使うお金

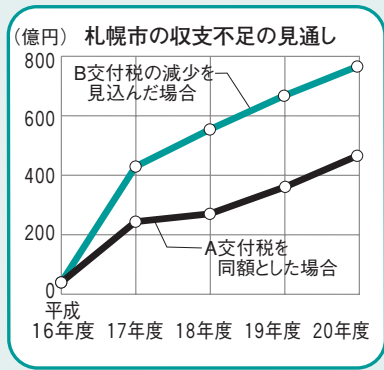
- ◎不況などの影響で、著しい伸びを示す生活保護費などの福祉の経費や地下鉄事業の繰出金などが増加している。

**結果** 歳入の増加は見込めず、行政サービスに必要な経費は増えている

↓  
**厳しい財政状況**

## ■ 4年後の見通し

今後4年間の財政状況の見通しを、二つの場合から試算してみました。



市に入ってくるお金(歳入)の一つである地方交付税を

**A** = 16年度と同じ額とした場合

**B** = 徐々に減っていくとした場合

※どちらの場合も、使うお金(歳出)は、それぞれの経費の伸び率を考慮するなどして試算。

**結果** Aの場合で500億円程度、Bの場合で800億円程度の収支不足が見込まれる

※地方交付税=国から市に配分されるお金の一つ

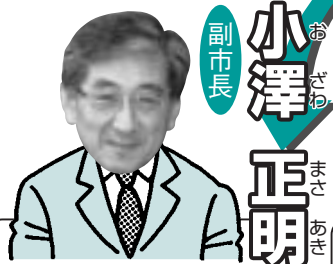
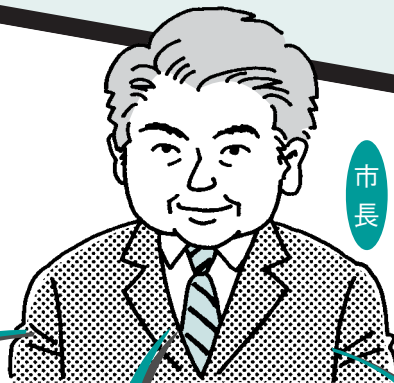
詳細 総務資金課 ☎211-2216



これまでの助役、新年度からは副市長となる3人を紹介します。

どんな人?

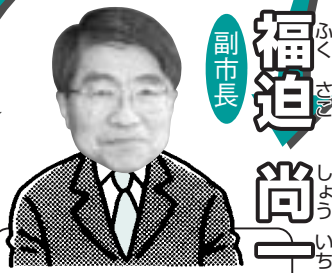
副市長は



私が担当する重点政策は、**経済・福祉**などです

受け持っている局は

財政局、保健福祉局、子ども未来局、経済局、観光文化局、南・西・手稲区、市立病院、教育委員会ほか



私が担当する重点政策は、**環境**などです

受け持っている局は

企画調整局、環境局、建設局、下水道局、交通局、水道局、白石・厚別・豊平・清田区



私が担当する重点政策は、**市民自治・市役所改革**などです

受け持っている局は

危機管理対策室、総務局、市民局、都市局、消防局、中央・北・東区、会計室、選挙管理委員会ほか

## 機構「ニューズ1」

### 「助役を副市長に！」

これまでの3人の助役を4月から「副市長」という呼び方に変更しました。この「副市長制度」のねらいは、①役

割を市民に分かりやすくすること、②スピード感ある市政運営を行うこと。市長から副市長へ、副市長から局長・区長へとこれまでの権限を移し、より現場の近くで意思決定をすることで、事務処理のスピード向上を図ります。

詳細

市役所改革推進室 ☎211-2061





# 事務事業の効率化などで経費を削減

■80億円の経費削減効果を

平成16年度の予算・定数・機構編成では、厳しい財政状況を踏まえ事業の見直しを行うとともに、現在取り組みを進めている事務事業の総点検と連動させて、約80億円の経費削減効果を生み出しました。その主な内容は次の通りです。

## 人員削減

削減効果  
約450人  
約34億円

主な項目

- ◎地下鉄駅業務の委託を拡大
- ◎市営バスの民間移譲
- ◎学校給食調理の委託を拡大

## 事務事業の効率化

削減効果  
約37億円

主な項目

- ◎市長交際費の見直し
- ◎各団体などへの補助金の見直し
- ◎光熱水費などの節約

## その他

削減効果  
約9億円

主な項目

- ◎職員給与の調整手当の見直し
- ◎退職手当の支給率の見直し

詳細

市役所改革推進室 ☎211-2061



# 市民の声を反映し市役所改革進めます

## ■市民の視点による市役所改革の提言

昨年11月、公募市民10人を含む15人の委員から成る「市役所改革市民会議」が発足しました。これまで、区役所職員との意見交換会を交えながら、活発な議論を展開。市民サービスやコミュニケーション（意思の疎通）のあり方などの議論を通じ、市役所改革にはまず市民との信頼関係を築くことが大切として、すぐにも実践すべき「サービスの向上」を求める提言がありました。今後、9月の最終提言までに2・3回の提言が予定されています。

## ■4月から行動を起こします！

市民会議の提言を受け、市では、市役所改革の第1歩として、まずは「市民サービス」を向上させるための取り組みを市役所全体で進めます。

あいさつの徹底、名札の着用、親切な対応など、職員一人ひとりが市民の皆さんとの信頼関係を高めるよう努めるとともに、中長期的な検討を要するものにも着手。「市民のために！挑戦する市役所」を実践し、市民の皆さんの目に見える行動を起こしていきます。

詳細 市役所改革推進室 ☎211-2061



# 市民の皆さんと一緒に進める市政運営

厳しい財政状況がこのまま続くと、現在の行政サービスを維持することは極めて難しくなります。今回、内部努力と事務事業の効率化で80億円を削減しましたが、市役所全体が一丸となって、今後もさらなる経費の削減に努めていきます。

しかし、内部努力だけでは解決できない状況にあることから、行政サービスの水準や範囲、市民負担のあり方などについて、市民の皆さんと十分議論していかねばなりません。

今後も本誌をはじめ、さまざまな形で市が抱える課題などをお知らせしていきます。市役所の仕事の「どの部分を充実させ、どの部分を変えていくか」を、ぜひ市民の皆さんも一緒に考え、その声をお寄せください。